

株式会社 美松

DX宣言書

2024年4月1日
株式会社 美松
代表取締役 松井 秀明

□ 経営理念

「サンキューを広げよう」

- ◆ 新潟のお客様へ感謝の気持ちをお伝えしながら、地元の良さを活かしたお菓子をお届けする
- ◆ お客様へより良いお菓子をお届けしながら、当社従業員の誰もが働きやすい企業を目指し、「お客様と共に輝くお菓子メーカー」になる

□ DXビジョン(2~3年後にありたい姿)

- ◆ ITを活用した業務効率化を通して、生産性向上を図り、お菓子・サービス品質の向上・安定化などお客様のためになる業務に注力できる時間を創出します
- ◆ データ分析を活用することで、継続的なお客様満足度の向上を実現できる会社となります

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(2024年7月~2025年6月)

戦略 「社内IT化状況の現状分析とDX実行計画の策定」

- ◆ DXビジョンを達成する為のボトルネックを特定し、実行可能なDX実行計画を作成します
- ◆ 計画に則り、課題を解決するのに適したツールを選定し、導入を開始します

施策 ・ 各店舗や工場への調査を実施し、社内業務内容やITシステムの利用状況を分析、課題を抽出
・ 同業他社や同規模他社のDX事例を参考に、実効性の高いDX計画を策定
・ DX実行計画に則り、選定したITツールの導入を開始

➤ フェーズ2(2025年7月~2026年6月)

戦略 「ITツールの段階的導入と従業員への定着化サポート」

- ◆ 選定したITツールの段階的な導入を推進します
- ◆ 各店舗や工場の従業員に対して定着化サポートを実施しながら、業務の効率化・最適化を推進します

施策 ・ 計画に即した形で、選定したITツールの段階的な導入を推進
・ 外部の協力を得ながら、従業員に対するITツール利用の定着化サポートやITリテラシー向上を推進

➤ フェーズ3(2026年7月~2027年6月)

戦略 「業務効率化を通じた生産性向上とデータ活用によるお客様満足度向上の実現」

- ◆ ITツール導入による業務効率化を通して、業務負担を軽減し生産性向上を図ります
- ◆ お客様のデータを分析することで、店舗運営や工場の生産体制、管理手法を改善し、お客様により満足していただけるようなお菓子やサービスをお届けします

施策 ・ ITツール活用により生産性向上を図り、休暇取得の活発化や労働生産性の向上を推進
・ 導入したITツールを通して得られたデータを活用することで、店舗での接客業務や工場の生産管理等を改善し、継続的にお客様満足度を向上させられる体制を構築

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役社長がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ 取締役がリーダーを務める「DX推進チーム」にて、DX戦略実行の中心的役割を担います
- ・ 各部署において現場リーダーを任命し、「DX推進チーム」を構成します

□ DX推進目標

- ・ 紙の使用量削減率 : 2024年6月期比 50%(~2026年6月)
- ・ 有給休暇取得率 : 2024年6月期比 70%以上(~2027年6月)